

# リウマチ性疾患治療センター 臨床研修到達目標

## 1. 特徴

私たちは以下の3つを心掛けて診療しています。

- ①患者さんと一緒に考える安心できる診療
- ②標準治療を基本とした安全な医療
- ③院内の診療科・部門、地域の医療機関と連携した診療

内科診療の基本とともに、全身性炎症性疾患であるリウマチ性疾患の診断と治療を研修して下さい。

## 2.ねらい

- ① 臓器別疾患では説明できない症状・所見を有する患者を適切に診察し、鑑別診断があげられるよう臨床推論の基本的技能を習得する。
- ② リウマチ性疾患患者の診療において、適切な検査・治療計画を立てられるように、知識・技能を習得する。

## 3.一般目標

- ① 一般診療に必要な臨床の基礎知識を習得する。
- ② 適切な身体診察を行い、所見を述べることができる。
- ③ 必要な検査を選択して、その結果を正しく解釈できる。
- ④ わかりやすい診療記録を作成することができる。
- ⑤ 診療において医療スタッフ（看護師・薬剤師・検査技師・OT/PT・ソーシャルワーカー・事務スタッフ）と相談することができる。
- ⑥ 他の診療科に適切に問題点を提示し、相談することができる。
- ⑦ 患者や家族と円滑にコミュニケーションをとることができる。
- ⑧ 症例報告の資料を作り、適切にプレゼンテーションすることができる。

## 4.研修方略

### (1)外来診療

- ① 新患については病歴聴取と診察を行い、その所見を指導医の診察により確認する。
- ② 指導医とともに診断・治療方針について検討を行う。

## (2)入院診療

- ① 毎日診察し、診療記録を遅滞なく作成する。
- ② 患者の病態の変化に合わせて、必要な検査や治療を考え、指導医とともに実施する。
- ③ 指導医とともに入院要約や診療情報提供書を作成する。

## (3)その他

- ① 症例をまとめて研究会・学会で発表する。
- ② 指導医とともに臨床実習の学生(医学部5・6年生)の学習を支援する。

## 5.週間スケジュール

	月	火	水	木	金	土
AM	リウマチ外来 病棟	総合診療科※ 外来	リウマチ外来 病棟	病棟	リウマチ外来 病棟	病棟
PM	漢方外来※ 病棟	病棟	病棟	病棟	病棟 症例カンファランス	

※希望者（漢方外来は不定期）

2~4名の入院患者を受け持ち、プロブレムリスト作成から入院要約作成まで一貫した診療を行う。

リウマチ科としての当直はないので、研修医当直など希望する当直をして下さい（1カ月に4回以内）。

希望する場合は、総合診療科、感染症科、臨床検査部（輸血業務）の研修内容を取り入れることができます。

## 6. 研修評価

- 1) 自己評価：EPOC2を用いて自己評価を行う  
(症候、疾病・病態の経験についてはEPOC2にて確認を行う)
- 2) 指導医による評価：EPOC2を用いて研修医を評価する  
(症候、疾病・病態の経験についてはEPOC2にて確認を行う)
- 3) 研修医による研修体制評価：EPOC2を用いて診療科全体（指導内容、研修環境）を評価する

## 7.研修内容

1カ月の研修で経験できる疾患	経験できる可能性がある疾患
関節リウマチ、シェーグレン症候群、強皮症	多発性筋炎・皮膚筋炎、血管炎症候群
リウマチ性多発筋痛症、骨粗鬆症、膠原病肺（間質性肺炎）	全身性エリテマトーデス、痛風、偽痛風
診断がつかない関節炎、発熱	好酸球増多症

研修できる治療

リウマチ性疾患に対する薬物療法	リウマチ性疾患に伴う合併症の治療
抗リウマチ薬治療	日和見感染症の治療
副腎皮質ステロイド薬治療	ステロイド骨粗鬆症の治療
非ステロイド抗炎症薬治療	ステロイド糖尿病 など
免疫抑制薬治療 など	

8.指導医（指導責任者） 青木 昭子

指 導 医 小林 弘